

最前線で戦う 医療従事者の皆様へエールを

マッチング事例⑫
医療従事者の応援

KOBETARTAN

神戸学院大学附属中学校



神戸市内の医療機関

「ちいさなしあわせ運び隊」として、防護服100着を作製 医療従事者の皆さんへ感謝の気持ちを込めて



1年生8名、3年生2名の10名

これからも「ちいさなしあわせ」を
お届けするため、後輩たちにも活動
を受け継いでいきたいとのこと。

神戸学院大学附属中学校の皆さんは昨年の文化祭をきっかけに、1年生2年生、そして3年生のそれぞれの学年でコロナ禍でできることを考え、活動されています。1年生を中心に結成された「ちいさなしあわせ運び隊」では、これまでにポリ袋と粘着テープで、防護服をつくり、須磨在宅福祉センターへ寄贈したりと感染症と最前線で向き合う医療従事者の皆様へ「感謝と応援」を届けてきました。

今回はwithコロナKOBETARTAN応援プラットフォームを通し、医療機関からの直接の要望を受け、新たに防護服100着を製作。昨年の防護服づくりの経験を活かし、大人顔負けの手際の良さで作りあげられました。

「ちいさなしあわせ運び隊」の皆さんより

ーニュースで日々コロナウイルスのことを目にするので、少しでも医療機関の皆さんの力になれば嬉しいです。

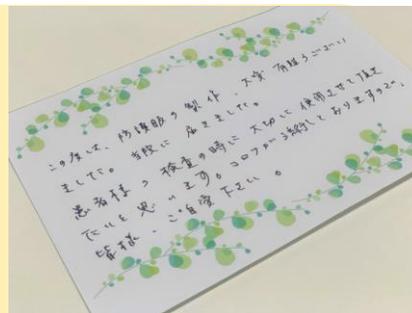
ーものづくりが好きだったので、活動に参加しました。初めて参加しましたが、改めて作り方を共有して、うまく作ることができました。

withコロナKOBETARTAN応援プラットフォーム上の紹介記事をきっかけに 市内の医療機関へ提供

神戸学院大学附属中学校の皆さんの協力者募集ページをご覧いただき、プラットフォームへご連絡いただいた市内の病院への提供が実現しました。通常の診察等の対応時でも、かなりの数の防護服を消費することと、感謝のお言葉をいただきました。

神戸市内の医療機関より

ー「この度は、防護服の製作、大変有難うございました。当院に届きました。患者様の検査の時に大切に使用させて頂きたいと思います。コロナが流行しておりますので、皆様、ご自愛下さい。」



感謝のメッセージをいただきました



放課後や休み時間で、100着をつくりあげました



医療機関のもとへ



KOBETARTANのハートとメッセージとともに